

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	道徳の教育法				
担当者氏名	中岡 郁恵				
授業方法	講義	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-4 発達の深い理解 ○ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

道徳科授業を“学びの場”にするために、①現代の道徳教育の課題・子どもの道徳性の発達・共感的かかわり等、道徳教育の基盤となる理論の理解を深める。②学習指導要領における道徳教育の方向性を土台として、道徳科指導案作成と授業実践の基礎力を身につける。③学級づくりにおける実践的指導力の習得をめざす。

《テキスト》

適宜、資料を配布する。

《参考図書》

小学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」
その他の参考資料・文献は、講義内で紹介する。

《授業の到達目標》

(1) 道徳教育の意義や内容、基盤となる理論の理解を深め、道徳教育の実践的指導に向けた基礎力を身につけることができる。(2) 子どもの発達・状況に応じ「ねらい」を明確にした道徳科学習指導案を作成することができる。(3) 教師である前に、ひとりの人間として「教育」のあり方、「道徳教育」について内省し考えることができる。

《授業時間外学習》

講義資料を読み返し内容理解を深める時間を主体的にもつ。次回のテーマ・内容について調べておく。

《成績評価の方法》

講義取り組み姿勢・提出物（振り返り・小レポート等）50%
 学習指導案作成提出、模擬授業スピーチ
 20% まとめの筆記試験
 30%

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小学校・中学校の教員経験に基づき構成していません。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業概要・進め方・評価方法、教科時代の道徳教育の方向性
2	現代の教育的課題と道徳教育	現代の教育的課題と学校における道徳教育
3	子どもの心の成長と発達	道徳性の芽ばえとピアジェ、コールバーグの発達理論
4	共感的かかわりと道徳性	「ケア」の視点と共感的かかわり
5	学習指導要領における道徳教育・道徳科の規定	小学校学習指導要領〔解説〕から道徳教育と道徳科の規定を読み解く
6	道徳科の授業づくり・1	道徳科学習指導案作成における基本の考え方と作成例
7	道徳科の授業づくり・2	すべての子どもが授業参加できる授業方法の工夫
8	道徳科の授業づくり・3	道徳科学習指導案作成の具体的なポイントと留意点
9	道徳科の授業づくり・4	登場人物の「自我関与」が中心の学習
10	道徳科の授業づくり・5	子ども理解と道徳授業の評価
11	道徳科授業の実践（1）	学習指導案の作成と提出（個人）
12	道徳科授業の実践（2）	模擬授業—指導案スピーチ
13	道徳科授業の実践（3）	教育現場の道徳授業実践との比較, リフレクション
14	学級づくりと道徳教育	構成的エンカウンター実践「シルエット・プログラム」の試み
15	まとめ	まとめ